

# 「ピアノの探究」正誤表

2020.4.4 作成

読者の皆様に謹んでお詫びすると共に、以下の通り訂正させていただきます。

訳者 伊藤牧子

ページ左右列 行

## 第2章

- 44 右 6～7 【誤】ダンパーロッドをダンパーレバーから離し、  
【正】ダンパーロッドを戻す力でダンパーレバーを離し、
- 45 右 3～5 【誤】じゃばら型のポンプやペダルでポンプのように折り曲げる様々な  
【正】ふいごや、足踏みペダルなど様々な

## 第3章

- 57 左下 16 【誤】メーカー → 【正】<削除>

## 第4章

- 87 右 9 【誤】小型のタップ → 【正】小型の逆タップ
- 98 図4-38 【誤】比重 (k g / m) → 【正】1 k g あたりの長さ (m / k g)
- 101 右下 4 【誤】再び鉄骨に固定して → 【正】鉄骨に当てて
- 118 左下 8 【誤】やすりの上に → 【正】上下二枚のやすりの間に
- 135 右 2～3 【誤】湿度コントロール付き建物やセントラルヒーティング付きの建物では、  
【正】暖房設備のない湿気のある建物では、

## 第5章

- 141 左 2 【誤】クラフトテープ (このタイプは貼り付くよう湿っている)  
【正】水貼りテープ (湿らせて貼るタイプ)
- 141 左 4 【誤】カミソリの刃でクラフトテープを擦るとフレンジから剥がせます。  
【正】テープはスクレーパーで、粘着部はカミソリでフレンジから剥がせます。
- 145 左 8～9 【誤】白鍵のピンの周囲に工具を近づけることが可能です。  
【正】白鍵のフロントピンを避けて使うことができます。
- 145 右下 2～1 【誤】ある角度で見た間違った値を読み取らなくなります。  
【正】正しい値を読み取ることができます。
- 147 左 12～14 【誤】各鍵を交互に押して離すと・・・0.5mmからそれ以下です。  
【正】0.5mm以下で (通常各鍵の前方) 交互に押したり離して下さい。
- 147 右 12～13 【誤】バックチェックとバット、あるいはキャッチャー上部を  
【正】バックチェック上面と、バットやキャッチャーを
- 150 左 9 【誤】鍵の高さを調節し → 【正】<削除>
- 154 左 13～16 【誤】全ての演奏形態 (フォルテ、ピアノ、スタカート、レガート) で、  
アクションが適切にはたらくことを確認できます。 <移動>  
左 10 【正】<10行目右記/に上記挿入> す。 / 各鍵をフロントレールの
- 162 右上11～12 【誤】ピアノに対する優れた整調のコントロールと・・・一定の反応は  
【正】ピアノの微調整における一様な反応と、ピアニストの満足感は
- 163 左下 5 【誤】粗い → 【正】<削除>
- 173 左下 10 【誤】ダンパーレバーリフトレールのフェルト  
【正】ダンパーレバークッションフェルト (図2-66 NO.37)
- 180 左 8～9 【誤】鋭い針先を20mm出し取り付けて下さい。同じ指の力で  
【正】1本の鋭い針を20mm出して取り付け、指の力は強く均等に

## 第6章

- 186 左 2 【誤】ほぼ一致した音高は → 【正】ほぼ一致した音が重なると
- 189 左 2～4 【誤】音楽的に正しい言語で音楽家とコミュニケーションするため、皆さんは5つの黒鍵の名前を習得することを強く求めていると著者は感じます。  
【正】5つの黒鍵の♭表記は強く求められていないので、正しい音楽言語で音楽家とコミュニケーションできると著者は思います。
- 190 右下 6～5 【誤】音楽に使用できないことは最悪です。  
【正】音楽にうまく使用できます。

## 第7章

- 205 左下 9 【誤】各平均律の真ん中の弦を → 【正】平均律の真ん中の各弦を
- 211 左下 1～ 【誤】8つの旋律のストップ → 【正】diapason 8' ストップ

## 第8章

- 246 右 1 【誤】提供するだけ 【正】<削除>
- 233 右 3～4 【誤】ゴーパーのたわみが厚板を降下しないようにします。  
【正】ゴーパーがたわんで外れません。
- 247 左下 11～10 【誤】張弦の準備ができる前にピン穴をあけない方が良いからです。  
【正】打ち込み張弦の直前にピン穴をあける方が良いからです。
- 255 右下 1～ 【誤】チューニンピンの → 【正】<削除>
- 258 右上 11 【誤】はじくチップング → 【正】はじいて音を合わせるチップング
- 262 右上 4～5 【誤】木製シムを使い、口棒に直線定規を挟んで下さい。  
【正】口棒に木製シムを乗せてから、直線定規をクランプして下さい。
- 267 左下 13 【誤】通して → 【正】徹底的に行うため
- 269 左 12～13 【誤】目立たないため気にする必要はありません。そして古い  
【正】目立たない上、古い

## 第1版の前書き

- vi 左 12 【誤】認定を受けた → 【正】匹敵する
- vi 左 13 【誤】働いており → 【正】働いているものの